

RAMIE 品種比較試驗成績

C 19

Ramie 品種比較試驗成績

1963

海協連竹竹指導農場

Ramie 品種比較試驗成績

IRARY

国際協力事業団

| | | |
|----------|------------|------|
| 受入 月日 | '84. 8. 21 | 708 |
| | | 80.7 |
| 登録No. | 13375 | EA |

Paraguay

Ramie 品種比較試驗成績

marzo. 25. 1963.

海協連イタ下ア指導農場

JICA LIBRARY



1034606[2]

Ramie 品種比較試験

I. 目的 東洋纖維株式会社より送付された、2品種の生産量並に適否を調査し、その優劣を比較する。

II. 試験方法

1. 供試品種 東織1号、東織2号。
2. 試験区 栽植密度を $1.0 \times 1.0m$ と、 $1.0 \times 0.5m$ の両区を設く。
1区面積 $1.2a$ 、2区制。

III. 耕種概要並に生育概況

Yamamori 農場に於いて栽培増殖中の供試2品種の根株を7月30日(1962)アルトパラナ農場に取寄せ根株を採集した。根株は $10cm$ に切断し、その長さ $1m$ 前後のものは1本宛、 $0.5m$ 程度のものは、2本宛栽植した。先づ山崎き直氏の $1.2m$ 中の試験圃場に於いて8月5日 $1.0m$ 間隔に長さ $3 \sim 4m$ の仮条をつくり所定の株間に根株を水平に置き、その上に約 $2cm$ 覆土した。栽植後比較的降雨に恵れ生育は良好で一であった。発芽期は9月8日である。生育論中期は降雨の分布よく順調に生育したが、11月以降1月下旬まで降雨少く且つ高温のため土壤水分が不足して生育は停止状態であった。10月10日に中耕除草を、その後根株の新梢除去を1回行った。収穫は時期を失し3月5日(1963)より開始し刈取直後剥皮した。茎は硬化したものが多く剥皮に疎懈がかなり収獲の終ったのは同月18日である。剥皮機によらず人手によつて剥皮し、その纖維は陽乾した。本期間中に害虫の被害は皆無であった。

IV. 成績及び考察

調査に当り各区につき、1畦 ($0.12a$) を単位として生育中節な5畦を調査しその平均値を算出する予定であったが調査の結果各畦間に差長が極めて少ないことが分つたので各区につき2〜3畦の調査に止めその平均を算出した。収穫時に於ける生育調査は生育中節な畦を選定し、その各株について有効茎数、無効茎数及び茎長、茎太を調査した。有効茎は茎長 $60cm$ 以上のもの、無効茎は $60cm$ 以下のものと除外した。又茎太は茎長の約 $1/3$ のところの直径を以つて示した。収量調査は一畦宛 ($0.12a$) の生茎葉重、生茎重、生纖維重と陽乾後の乾纖維重を夫々調査した。その成績を表示すると表一の通りである。

両品種とも栽植密度が密であると1株莖数は減り、莖長は稍々低くなり、茎太は細くなる。
 又1畝当りの莖重及び纖維重に於いても密植の場合は収量が大きくなる。特に1号に於いて顕著である。又纖維の歩留も両品種とも高くなる。

第一表 東織1号及び2号の収穫時に於ける生育状況と纖維収量(0.12a当)

| 形質 品種 | 區別 | 栽植 密度 | 1株莖数 | | 莖長cm | | 茎太cm | | 生育(0.12a当kg) | | | 比 率 % | 比 率 % | 乾 重 % | 二 次 率 % | 供 試 数 | |
|------------------|----|----------|------|----|------|----|------|-----|--------------|-------|------|-------------|-------------|-------------|------------------|-------------|---|
| | | | 有効 | 枯死 | 原莖 | 分莖 | 原莖 | 分莖 | 莖数 | 重量 | 纖維 | | | | | | |
| 東 織 一 号 | A | 1.0x1.0 | 14 | 1 | 155 | 72 | 1.0 | 0.5 | 11.09 | 5.57 | 1.57 | 0.4 | 4.15 | 8.25 | - | 13 | 4 |
| | B | 1.0x1.0 | 15 | 2 | 163 | 77 | 1.0 | 0.5 | 12.77 | 6.68 | 1.90 | 0.63 | 4.93 | 9.03 | - | 14 | 2 |
| | 平均 | 1.0x1.0 | 14 | 1 | 157 | 74 | 1.0 | 0.5 | 11.93 | 6.12 | 1.73 | 0.55 | 4.54 | 8.64 | 100 | 13 | 3 |
| 東 織 二 号 | A | 1.0x0.5 | 10 | 1 | 199 | 67 | 0.9 | 0.5 | 13.20 | 6.95 | 2.17 | 0.65 | 4.92 | 9.35 | - | 23 | 2 |
| | B | " | 12 | 2 | 176 | 73 | 0.8 | 0.5 | 12.37 | 6.77 | 1.97 | 0.65 | 5.25 | 9.60 | - | 24 | 2 |
| | 平均 | " | 11 | 1 | 197 | 70 | 0.8 | 0.5 | 12.78 | 6.80 | 2.07 | 0.65 | 5.03 | 9.47 | 100 | 22 | 2 |
| 東 織 一 号 | A | 1.0x1.0 | 18 | 1 | 183 | 88 | 1.1 | 0.7 | 16.37 | 10.35 | 3.07 | 0.73 | 4.70 | 7.25 | - | 11 | 3 |
| | B | " | 17 | 2 | 172 | 84 | 1.1 | 0.7 | 17.88 | 11.10 | 3.10 | 0.74 | 4.70 | 7.57 | - | 12 | 2 |
| | 平均 | " | 17 | 1 | 178 | 86 | 1.1 | 0.7 | 17.37 | 10.72 | 3.02 | 0.74 | 4.57 | 7.41 | 104 | 11 | 3 |
| 東 織 二 号 | A | 1.0x0.5 | 10 | 1 | 172 | 75 | 1.0 | 0.7 | 16.30 | 10.68 | 3.07 | 0.69 | 5.09 | 7.77 | - | 23 | 3 |
| | B | " | 11 | 2 | 163 | 82 | 1.1 | 0.6 | 17.28 | 11.43 | 3.10 | 0.80 | 5.09 | 1.70 | - | 22 | 2 |
| | 平均 | " | 10 | 1 | 167 | 78 | 1.0 | 0.6 | 16.77 | 11.05 | 3.08 | 0.85 | 5.07 | 7.73 | 131 | 22 | 3 |

第一回

栽植が1年目の収量は両品種共密植の方が良くなつてゐるが第2年目以降については次年度の調査に俟たなければならぬ。
 両品種を比較すると生育収量共東織2号は同1号より遙かに優れており乾纖維収量に於いては130%~140%となつてゐる。但し生莖に対する乾纖維歩留りに於いては反対に2号の方が劣つてゐる。

纖維歩留りは生莖の硬化が進むにつれて低下するものと思はれるが1号は2号に比して早生であり此の収穫時に於いては1号の方がより硬化が進んでいたのであるのに拘らず歩留りが高くなつてゐるのは明らかに品種の特性と見て良く、尚適期収穫の際は更にその数値は高くなるものであろう。

品種に與しては、東洋纖維会社に依頼中である。尚参考のため

試験区収量を10a当に換算すると新山に於いて1号の疎植区は45.8kg、密植区は54.2kg、同2号は夫々65.8kg、70.8kgとなる。一般栽植の場合は欠株、生育不揃及機械剥皮による茎の上部纖維の脱落など考へられるので同数字の80%前後を予想するのが安全と思われ。尚3月5日刈取りの1.0×1.0m区の新芽は降雨に感れて、同月25日現在西岳程茎1m程度に伸長しているので8月定植の場合は(第1年目)刈取を1月頃、第2回を4月頃の2回刈は容易であると見られる。本試験の収穫物は収穫の適期を失したので品質調査には当を得ないと思ひ1.0×1.0mのB区より収穫適期と思われ生茎を適宜収穫し調査した結果は第2表のとおりである。(生茎量は一定面積より収穫したものでない)

生茎の若い丈けあつて纖維歩留りが高く、且同歩留りは1号の方が2号より優れている事は第1表と等しい。此の纖維についても同会社に於いて調査中である。

第二表 適期収穫時の纖維の品質、歩留

| 形質 品種 | 最長茎cm | | 生茎重 kg | 生纖維重 kg | 乾纖維重 kg | 乾纖維重 生茎重% | 品質 |
|----------|-------|-----|-----------|------------|------------|--------------|----|
| | 長さ | 太さ | | | | | |
| 東織1号 | 195 | 1.2 | 5.80 | 2.70 | 0.844 | 10.76 | — |
| 東織2号 | 200 | 1.3 | 11.50 | 3.62 | 0.98 | 8.52 | — |

備考 1.0×1.0mのB区より収穫適期と思われ生茎を任意本数採集した。(3月18日)

